

- Welcome -

オンラインインターンシッププログラム構築支援業務

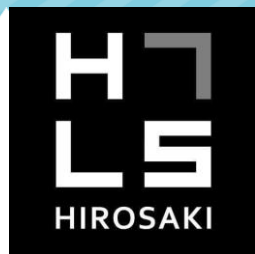
成果報告会

2022 3.10 [THU] 13:30-15:00

開始まで、しばらくお待ちください。

主催：青森県 運営：(株)BOLBOP

- ・入室されましたら、マイクをミュートにしてお待ちください。
- ・対話の時間がありますので、カメラはオンでご参加ください。
- ・お名前を「●●@企業名」等にしてください。
- ・ご質問などありましたらチャット欄をご活用ください。



令和3年度 オンラインインターンシップ プログラム構築業務 成果報告会

オンライン開催

2022.3.10(木)13:30-15:00

主催：青森県
運営：(株)BOLBOP

今日の流れ

- ① 13:30-13:40 開会あいさつ
- ② 13:40-14:00 事業報告・調査結果等の紹介
- ③ 14:00-14:30 実証参加企業・学生による成果発表
- ④ 14:30-14:55 参加企業によるディスカッション
- ⑤ 14:55-15:00 閉会

イベント開催にあたってのお願い

- ・ マイクはこちらからお願いする時以外はミュートにしてください。
- ・ カメラは原則オンでご参加ください。
- ・ ブレイクアウトルームに分かれて、参加企業同士話す時間があります。
- ・ 集合写真撮影の際も、お顔を出していただけると嬉しいです。
- ・ 記録のため、Youtubeのプライベート動画で録画しております。
- ・ お名前を「氏名@企業名」等にしてください。「例：辻正太@BOLBOP」
- ・ 質問などは、チャット欄をぜひ有効に活用してください。
- ・ 終了後、アンケートへのご協力お願いいたします。



— 事業報告・調査結果等の紹介 —

コロナ禍における採用（就職）活動の制限

企業・学生の接点の減少



インターンシップのオンライン化を軸とした

県内企業の採用活動のデジタル化による接点の確保

オンラインコミュニティ上での母集団形成

- ①県内企業を中心としたインターンシップに関する現状調査
- ②県内・県外学生のインターンシップ参加状況に関する調査
- ③全国の企業のオンラインインターンシップ先進事例の調査



県内企業3社のご協力をいただき

オンラインインターンシッププログラムを構築

各社 2 DAYSで実証実施・検証

◆具体的な実施内容

プログラム構築

- 大学生と協働しながら、事業者独自の、魅力的なオンラインインターンシッププログラム（1 DAY～3 DAY）について検討し、設計まで行う。
- 12月から1月上旬にかけて、2～3回のオンラインミーティングを予定。

実証実施

- 実際に、就職活動中の学生を募集し、オンラインインターンシッププログラムを実証実施（2月頃）する。（運営に学生も協力）
- 参加学生の募集等についても、学生のアドバイスを受けながら進める。

報告会

- 実際にオンラインインターンシッププログラムを実施したうえで、見えてきた成果や可能性、課題について、県内事業者に共有し、地域全体として採用力の底上げを図る。

このプロセスを通して、各事業者人事担当の大学生との関係性の築き方についても、アップデートし、今後の採用活動に繋げていただく。また、若手社員の皆様の研修の場としても活用していただきたい。

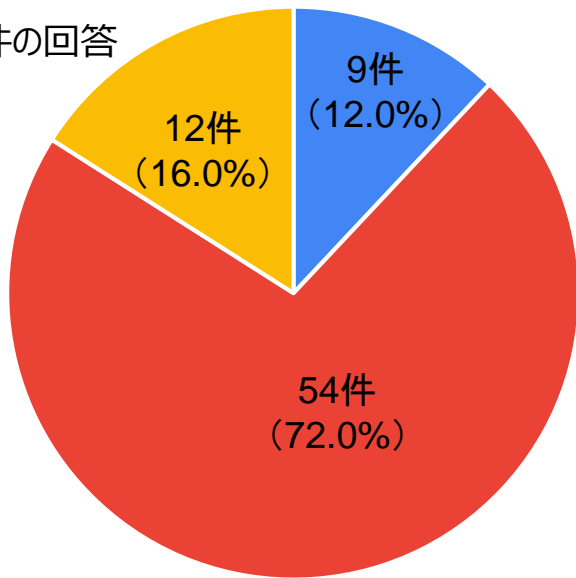


— 企業向けアンケート —

◆企業向けアンケートの結果

・貴社では、これまでインターンシップを実施したことがありますか？

75件の回答



■ オンライン・対面ともに実施したことがある

■ 対面はあるが、オンラインは実施したことがない

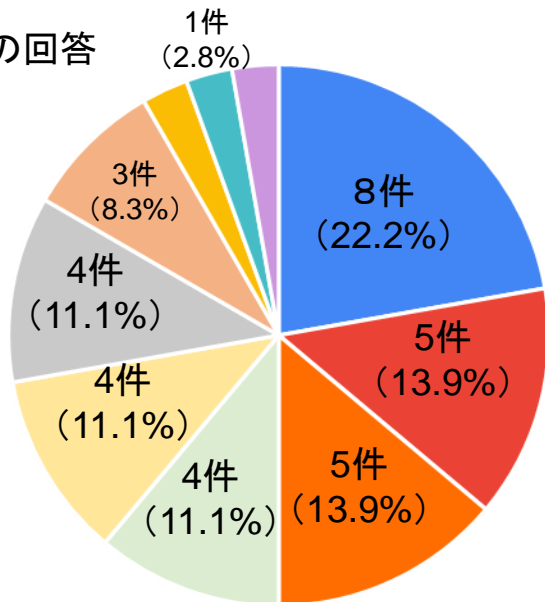
■ インターンシップを実施したことがない

- ・8割以上がインターンシップを実施している。
- ・オンラインインターンは9社のみ。（75社中）

◆企業向けアンケートの結果

・オンラインインターンシップの中で取り組んでいることを教えてください

36件の回答

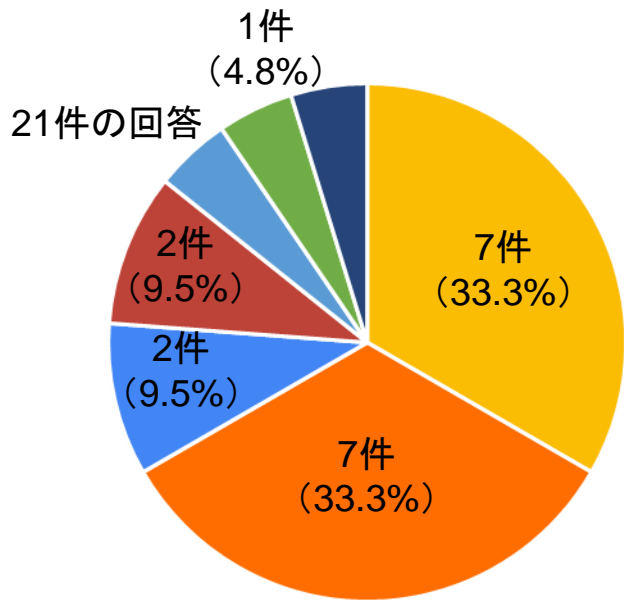


- 会社説明 8件
- 業界研究 5件
- アイスブレイク 5件
- 実際の仕事のシミュレーション体験 4件
- ディスカッション 4件
- 参加学生と社員との座談会・交流会 4件
- 事業課題の解決 3件
- 会社・工場見学(中継または動画) 1件
- チームビルディング 1件
- 就活支援 1件

- ・通常のインターンとそこまで実施内容に大差はない
- ・中継での会社工場見学は難易度が高い可能性
- ・体を使うようなチームビルディングは難しい

◆企業向けアンケートの結果

・オンラインインターンシップを実施したことにより、どのような効果がありましたか？



■ 学生が滞在している場所を選ばないため、県外からの参加者が増えた 7件

■ インターンシップ担当者の負担が軽減された 7件

■ 画面越しではあるが、学生との心理的な距離を縮めやすかった 2件

■ 対面で実施するよりも、申込数が増えた 2件

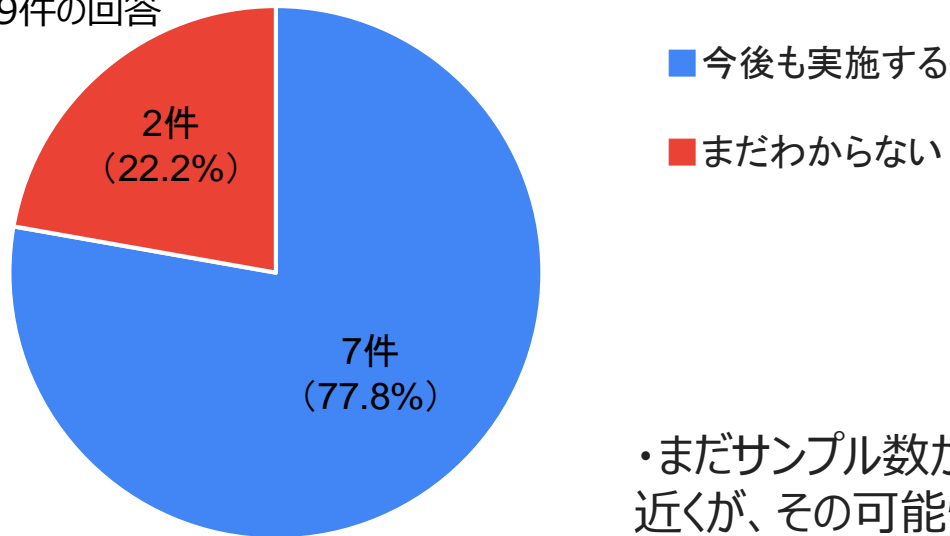
■ 学生を現地に集めて開催するよりも、経費を減らすことができた 1件

- ・申込数には増える傾向にある。
- ・負担は結果的に軽減される可能性がある

◆企業向けアンケートの結果

・今後もオンラインインターンシップを実施する予定ですか？

9件の回答

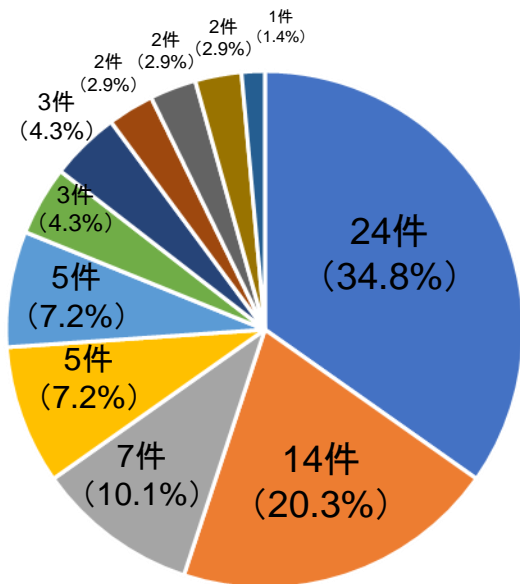


・まだサンプル数が圧倒的に少ないが、8割近くが、その可能性を感じている

◆企業向けアンケートの結果

・オンラインインターンシップを実施していない理由を教えてください。

69件の回答



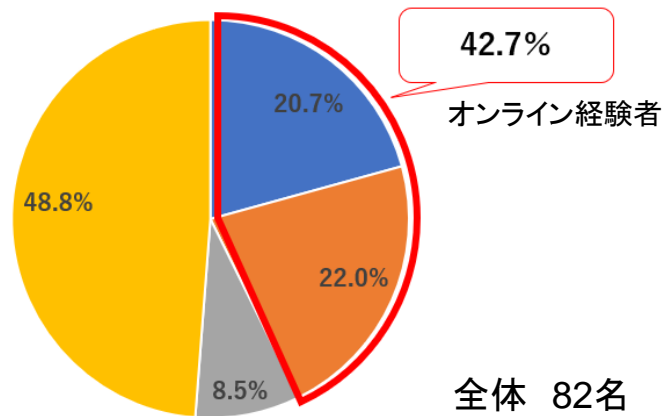
- 実施したいが、業務内容との相性が悪い(オンライン化が難しい) 24件
- 実施したいが、具体的な実施方法がわからない 14件
- オンラインインターンシップの存在を知らなかった 7件
- 実施したいが対応できる社員がいない 6件
- 実施する必要がない 5件
- 実施したいがオンライン配信に必要な機材が揃っていない 3件
- オンラインのプログラムは用意しているものの、応募がないため、実施できていない 3件



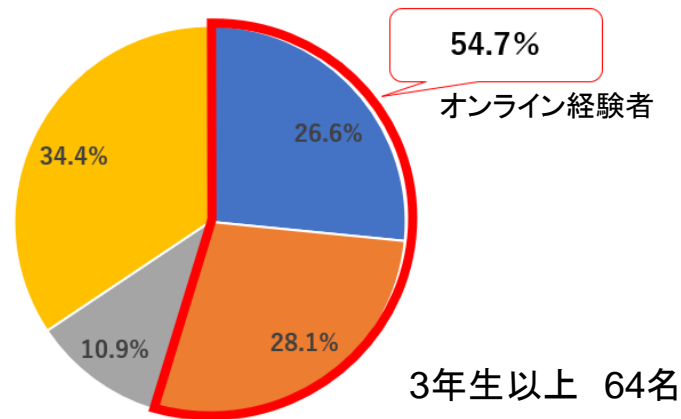
— 学生向けアンケート —

◆学生向けアンケートの結果

・あなたは、これまでインターンシップに参加したことがありますか？



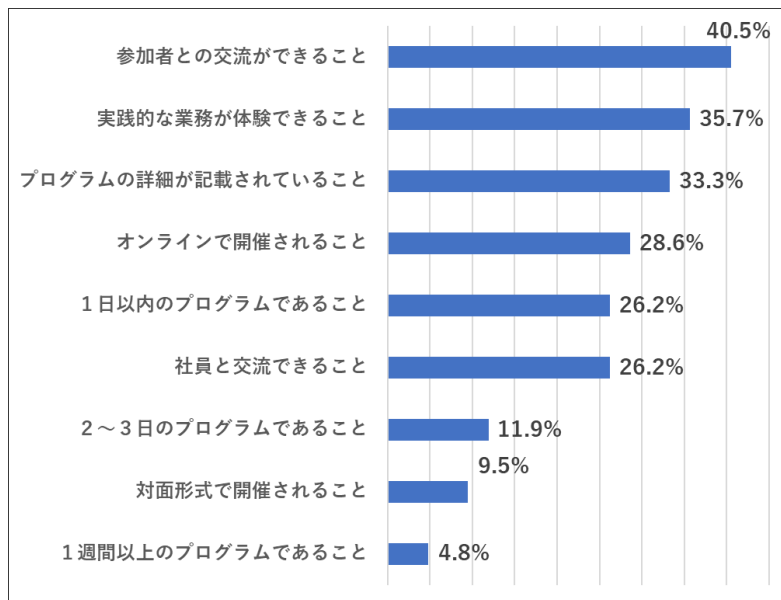
- オンライン・対面ともに実施したことがある
- オンラインはあるが、対面は参加したことがない
- 対面はあるが、オンラインは実施したことがない
- インターンシップを実施したことがない



・約半数が、オンラインインターンシップを経験（オンラインのみという学生も存在する）

◆学生向けアンケートの結果

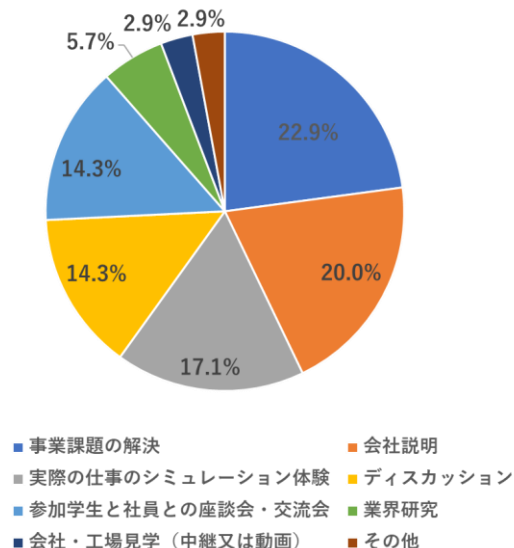
・インターンシップに申し込む際に何を重視しましたか（複数回答可）



- ・ 企業とのコミュニケーションだけでなく、同じく就職活動に臨んでいる仲間との交流を求めている。
- ・ 単なる会社説明や、ちょっとした職場体験ではなく、実践的な業務へのチャレンジができることよい
- ・ 日数や対面かどうかなどはあまり重要ではなく、プログラムの中身が重要である。

◆学生向けアンケートの結果

・オンラインインターンシップにおいて体験したプログラムの中で、**最も**満足度が高かったものを教えてください。



事業課題の解決	8	22.9%
会社説明	7	20.0%
実際の仕事のシミュレーション体験	6	17.1%
ディスカッション	5	14.3%
参加学生と社員との座談会・交流会	5	14.3%
業界研究	2	5.7%
会社・工場見学（中継又は動画）	1	2.9%
その他※	1	2.9%
合計	35	

◆学生向けアンケートの結果

・オンラインインターンシップにおいて企業に求めることがあればご記載ください。

(1) 進行や時間配分について

- ・休憩時間を多めにしてほしい。
- ・進行をスムーズに行ってほしい。
- ・回線の影響で聞き取りづらいことがある。
- ・参加者の当事者意識を高める立ち回りをしてほしい。
- ・時間管理を徹底してほしい。
- ・参加者が複数いる場合は、ルームを分けるなどの対策をとってほしい。

(2) プログラムについて

- ・自分で実際に手を動かして考えたい。
- ・フィードバックが欲しい。
- ・説明を聞かせるだけではなく、対話形式を取り入れて欲しい。
- ・企業の方とのコミュニケーションを取る機会を増やして欲しい。
- ・数人のグループでの交流会をする機会があれば緊張がほぐれると思う。



— 全国の先進事例 —

◆オンラインインターンシップ先進事例のご紹介

ヤマモリ株式会社（製造業） / 三重県桑名市（1951年創業）

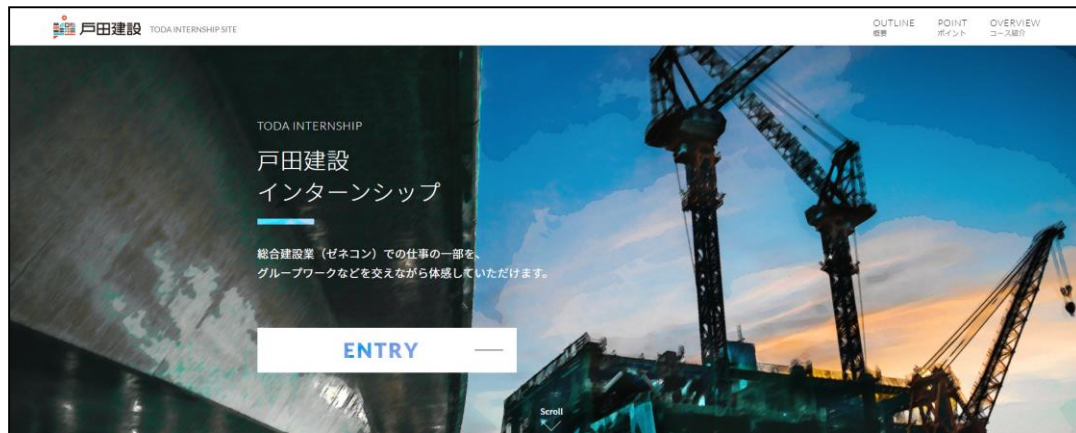


- 事前に参加者へ食材を送付し、リモート試食会を実現。
- 既存商品を使った新たなアレンジメニュー創作に挑戦。
- バーチャル工場見学等も実施。

企業1
ヤマモリ株式会社
三重県桑名市
1951年
777名
3日間
①開発コース 1日目：ガイダンス、商品企画開発部の概要説明、企画GW 2日目：開発研究所の概要説明、レトルトカレー・めんつゆ開発グループワーク・試食（事前に参加者へ食材を送付し、リモート試食会を実現） 3日目：バーチャル工場見学、安全衛生ワーク、振り返り、発表資料作成、成果発表プレゼン
②営業コース 1日目：ガイダンス、商品企画開発部概要説明、企画グループワーク 2日目：中部支店の概要説明、営業グループワーク（そうめんつゆを使ったアレンジメニュー創作に挑戦）、営業ロールプレイング（支店長がバイヤー役を担当） 3日目：バーチャル工場見学、安全衛生ワーク、振り返り、発表資料作成、成果発表プレゼン

◆オンラインインターンシップ先進事例のご紹介

戸田建設株式会社（建設業） / 東京都中央区（1936年創業）



- ボードゲーム式のグループワークを通して、職場で発生するトラブルの解決に挑戦しながら、様々な職種の社員がどのように関わり合っているのか等、総合建設業について学ぶ。
- 全チームに必ず社員が一名伴走し、密な関係性を築く。

戸田建設株式会社
東京都中央区
1936年
4,160人
1日間
1dayオンラインワークショップと、1day オンラインセミナーの2種類を実施/ 1dayオンラインワークショップでは、グ ループワークとしてボードゲームに取り 組む。内容は、職場で発生するトラブル の解決に挑戦するというもので、ゼネコ ンの仕事の進め方について学ぶ。/会社 説明、職種説明、社員との座談会は、 ワークショップとセミナーで共通して実 施。
応募者多数の場合は抽選
関係なし
不明
不明
10~30名程度/回
無償
対象は、大学院、大学、高等専門学 校に在学中の方で、学部・学科は不 問

◆オンラインインターンシップ先進事例のご紹介

(株)公文教育研究会（教育学習支援業） / 東京都港区（1958年創業）



- 3日間で実際に市場調査を行い、新規出店に関して提案。
- 出店の先に、どのような生徒を育て、地域にどう根差していくかまで考え、教室発展計画を立案。
- 社員からの本気のフィードバックあり。

株式会社公文教育研究会
東京都港区
1958年
4,091名(2021年3月時点)
3日間
【3 daysインターンシップ】 『成果を生むチーム作り』で地域に変革を起こせ！
〈3日間のゴール〉 インターンシップ参加者にはWeb上で市場調査を行い、新しい教室の設置を検討
チームで発展計画をまとめ、最終日にプレゼンテーション その後、社員によりホンキのFBを受ける
なし
なし
不明
ZOOM
100名/回
無償
<プログラムを通じて身につく力> 3daysインターンシップのキーワードは「自身とチームの成長」



— 今回の取組内容について —

◆実際のプログラムのご紹介

◆弘果 弘前中央青果株式会社 / R4年2月18日(金)・24日(木)

『祝！弘果 創立50周年 100周年に向けたスローガンを提案せよ！』

◆株式会社マツダアンフィニ青森 / R4年2月25日(金)・3月3日(木)

『100年に一度の自動車業界変革期！青森の20代に刺さる自動車展示会の企画を提案せよ！』

◆株式会社福萬組（建設業） / R4年2月28日(月)・3月4日(金)

『地域の建設業から世界へ！新たなキャリアプランを体感する 2 DAYS』

◆実際のプログラムのご紹介

◆弘果 弘前中央青果株式会社 / R4年2月18日(金)・24日(木)

『祝！弘果 創立50周年 100周年に向けたスローガンを提案せよ！』

経営陣はじめ社員の想いに触れながら、あらためて弘果が大切にしたい文化や風土などを理解し、弘果で働く全ての人の道しるべになるような言葉を紡いで提案する。



◆実際のプログラムのご紹介

◆株式会社マツダアンフィニ青森 / R4年2月25日(金)・3月3日(木)

『100年に一度の自動車業界変革期！青森の20代に刺さる自動車展示会の企画を提案せよ！』

地域（青森県）や自動車業界を取り巻く現状や、マツダアンフィニ社の強みを再確認し、あらためて若者に刺さる企画案を提案する。



◆実際のプログラムのご紹介

◆株式会社福萬組（建設業） / R4年2月28日(月)・3月4日(金)

『地域の建設業から世界へ！新たなキャリアプランを体感する2 DAYS』

社員へのオンラインインタビューに加えて、事前に企業が作成した動画とリモート中継のハイブリッドでバーチャル現場見学を実施した。2日目にはオーストラリアとも繋いで、現地役員と交流。



◆オンラインインターンシップの構築方法(テンプレートの紹介)

事前

可能であれば、参加者母集団形成のためのオンラインイベント(今回は時間がなく未実施)テーマは「地域でのキャリア」など。

DAY①

導入→アイスブレイク(自己紹介ワーク)→事業内容&業界動向に関するインプット→課題の提示→社員インタビュー(複数名)→振り返り

DAY②

導入→学生のプレゼンテーション&フィードバック→ディスカッション→振り返り→終了

事後:スラック上でコミュニティを作り、振り返り含めやりとりを継続

— 実証参加企業・学生による —

成果発表

企業担当者

高杉さま/ 弘果 弘前中央青果株式会社

小山田さま/株式会社マツダアンフィニ青森

小笠原さま/株式会社福萬組

学生参加者

櫻田さん/ 弘果 弘前中央青果株式会社

鎌田さん/株式会社マツダアンフィニ青森

小向さん/株式会社福萬組

企業担当者より

オンラインインターンシップを実施してみて

- ①よかったこと、難しかったこと、今後可能性を感じていることなど
- ②チームで運営してみて、社内にどのような変化があったか

学生参加者より

オンラインインターンシップに参加してみて
どのような感想を持ったか。

ディスカッション

—— 「地域企業におけるオンライン
インターンシップの可能性について」 ——

—— ディスカッション ——

地域企業におけるオンライン
インターンシップの可能性について
(20分)

成果報告を聞いての感想の共有
自社ではこんな取り組みができそうだな など

——— お願い ———

アンケートへのご協力を
お願いいたします。

本日の資料は、後日青森県庁ホームページに掲載します。